

会議録(案)

会議名	令和5年度 第2回 紫波町社会教育委員会議				
開催日時	令和6年1月26日(金) 午後6時30分～午後7時26分				
開催場所	紫波町役場 会議室301～303				
委員出欠状況	議長	小田島 雄	出	委員	角谷 隆章
	委員	松田 隆宏	出	委員	工藤 瞳夫
	委員	菊池 一政	出	委員	高野 修
	委員	岩崎 雅司	出	委員	長澤 聖浩
	委員	小川 哲男	出	委員	原田 恵子
	委員	鷹觜 武寿	出	委員	富岡 敏子
	委員	佐藤 富美子	欠	委員	清水頭 聖子
	委員	昆野 美幸	出	委員	外館 邦博
行政	教育長 侘美 淳			教育部長 阿部 薫之	
	生涯学習課長 須川 範一			副課長 千葉 広幸	
	歴史文化係長 岩館 岳			主事 内川 拓己	
	社会教育指導員 佐々木 勉				
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 報告 (1) 令和5年度生涯学習重点施策の実施状況について 4 協議 (1) 令和6年度紫波町生涯学習行政の方針と施策について 5 事務連絡 6 閉会				

社会教育委員会議の記録（要点筆記）

（開会 午後 6 時 30 分）

<進行：須川課長>

本日、高野修委員、佐藤富美子委員より欠席の連絡がありましたので報告いたします。

ただいまから、令和 5 年度第 2 回社会教育委員会議を開会いたします。

ここで侘美教育長からごあいさつを申し上げます。

<教育長>

お晩でございます。あっという間にこの時期になりました。冒頭に北陸地方に向けて、ご冥福とこれからのお復興を心から願っております。

年 2 回の定例会議の今日 2 回目になりました。よろしくお願ひいたします。

ご案内のとおり総合計画がありまして 8 年の大きな計画です。前期計画の 4 年が令和 5 年度で終わって、そして後期が来年度の 6 年度から 9 年度までとなります。審議会とかでいろんなご意見が寄せられてそれなりの一定の方向性が定まります。本体は 8 年間同じ目的、目標で進んでおりますけれども、今、議会に提案するまでの段取りが組まれているところでご承知おき願いたいと思います。

それから同時進行で、今の時期、来年度どうするかということで予算編成、つまり、願いとしての総計を基にしながらその願いを具体的にどうするか、それに伴う予算をどうするかということで今進めておるところです。

今日、5 年度の今までの実施報告と状況、それから協議議題として予算は 3 月議会でしか確定されませんけれども、概ねこんな方向でいくということで一部修正も含めて今日は協議していただきたい。まだちょっと微調整がきく部分ありますので、皆さんからご意見を賜りながら、3 月議会に向けて取り進めていきたいと思っております。

今日はこの時間ですが、皆さんよろしくご協議のほどお願いします。

<進行：須川課長>

次第の 3、4 の協議事項につきましては、進行を会議運営規則により、小田島議長にお願いいたします。

<議長>

どうぞよろしくお願ひいたします。それでは報告「(1) 令和 4 年度生涯学習課重点施策の実施状況について」の説明をよろしくお願ひします。

<事務局>

（資料により各担当が説明）

<議長>

令和5年度の実施状況について説明頂きました。委員の皆様より質問等ありましたらよろしくお願ひします。実施状況について多岐にわたってありますがよろしいでしょうか。

<委員>

(意見、質問等なし)

<議長>

それでは続きまして4の協議に進みます。「令和6年度紫波町生涯学習行政の方針と施策について」の提案をお願いします。

<事務局>

(資料により各担当が説明)

<議長>

それでは少し区切って質疑を受けたいと思います。初めに令和6年度の方針と施策について願います。

<委員>

3重点施策の(3)「学習成果を活かす場づくり」でございますが、発表機会の確保とのご説明をいただきました。前後しますが5年の実施状況、(3)「学習成果を活かす場づくり」の①合唱・合奏部門の来場者数が34名と大分少ないなと思います。方針の方でも発表機会の提供、或いは確保というような説明がございましたので、何かその来場者人数に対する見直しの考えはありますでしょうか。

<須川課長>

合奏・合唱部門の来場者は34人でしたが、客席で発表を出演団体と来場者で見るという事で進めております。

例年よりも来場者はちょっと少なかったですが、発表する側にとって多くの来場者がいるという事がこれからの練習とかの励みになるという事でございますので、PRにつきましてはホームページでもしておりますが、もう少し検討して参りたいと考えております。

<議長>

他に委員の皆様よりいかがでしょうか。

<委員>

(5)の「生涯を通じ健康な人づくり」の(キ)「部活動の地域移行の検討」がありまして、意見ではなく私の感想ですが、地域移行という事を考えた時に、学校教育等が中心なってその

あり方について検討していると思いますけれども、やはり地域移行という事を考えると、それが5年、10年、もっと先かもしれませんけれども、何となく学校教育から社会教育に移っていくって関わっていくんだと思います。

学校教育と社会教育含めて、生涯学習っていうことを考えた場合に、運動だけではなくて文化とか、資料にもあるようにニーズを踏まえたっていうことを考えると、その既存の部活動だけではない子どもがやってみたい内容とか、料理をやってみたりとか、裁縫してみたりとか、パソコンやってみたりとかそういうことが、多分最終的に地域の受け皿として進んでいくんだろうなということをちょっと感じて、最終的には生涯学習の中で大きな位置付けがあるんだろうなということをちょっと感じた次第でございます。以上です。

<教育長>

今の件、協議があった後、事務連絡でお話しようと思っていましたが、今、委員からありましたのでここで話しておきます。

(資料により説明)

<議長>

教育長より説明がありましたが、この件についてよろしいでしょうか。

<議長>

それでは、方針と施策についてその他ございませんでしょうか。

<委員>

重点施策（1）ウの「読書推進に取り組む地域ボランティア団体等の育成・支援」とあります、具体的にどういう支援を行っているのでしょうか。

<佐々木指導員>

盛岡教育事務所が主催しているボランティア研修会に応募させていただいて、今年度も、教育委員会と図書館と赤石小学校の方に持ち込んで3つの研修会を行っています。来年度も同じような形で進めたいと思っております。また、紫波町の図書館が非常にいろんなイベントをしており、子供だけじゃなくて、大人対象の読書会だったり夜の図書館だったりというふうにしながら、読書活動の啓発も進めていますので、そちらの方も一緒に進めていきたいと思っております。

<委員>

金銭的な支援とかはないのでしょうか。

<佐々木指導員>

特に行っておりませんが、ただ、実は読み聞かせボランティアさんが各学校で行なっている

が、様々な課題があり、今日も盛岡教育事務所管内のボランティアさんたちが集まって、これから推進に係る会議を行って参りました。やはり、読み聞かせボランティアさん等々も含めて高齢化が進んでいる。保護者の方々への働きをしているが、なかなか後継のボランティアさんもいない、どうやって確保していくかの課題も出ております。

こちらの対応としては学校運営協議会制度の中で、学校教育課のCSコーディネーターが各学校を回ってボランティアさんの募集、様々な手配とか進めているところです。

<委員>

赤石小学校の読み聞かせボランティアさん達が、赤石小学校の図書館の本の修繕作業をされています。修繕する費用とかやる場所などを個人の皆さん達が持ち出しされているようなので、修繕する費用を支援できるのであればと思い提案させていただきました。

<教育長>

その状況は承知しています。赤石小学校の問題でもありますので、予算で出せるかどうかって辺りは、まさにボランティアの領域なので、その実費負担の部分に関しては検討しなきゃいけないが学校教育課の分野だと思います。なお、紹介ですが、大人に頼るだけじゃなくて東学園、紫波二中と東小学校ですが誰がやっているかというと子供たちがやっています。つまり、中学生の図書委員会が小学生のために同じ校舎にいるので、読み聞かせをしている事例もあります。何も大人だけじゃなくて、子供たちでも出来ています。目的は読書と或いはそういう文化と関わっていくのがポイントだと思います。ご意見を頂戴しながら進めて参ります。

<議長>

よろしいでしょうか。

<議長>

次にクラブハウスの整備事業について説明がありましたので委員の皆様、何かありましたらお願ひします。

<委員>

(意見・質疑なし)

<議長>

次に6年度予算案について何かございましたらお願ひします。

<委員>

町の財政が厳しいということを各所から耳にしてございます。

そうした場合に6年度予算（案）ですので、5年度とか4年度とか比較的出来るもの、やっぱり減っているとかも当然分かることだが、重点目標を判断するけれども、これを受けたことは

減額になってるとか、ここはちょっと厚くしたい、或いは新規などが見えるといいと思います。

<議長>

ご意見でしたけれども、事務局でこの件について何かござりますでしょうか。

<須川課長>

今回の資料についてはそのような作りではなかったですが、来年度の会議では提示したいと思います。

<議長>

他に予算については皆様よろしいでしょうか。

<委員>

(意見、質疑なし)

<議長>

それでは私の方からは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

<進行：須川課長>

小田島議長、スムーズな進行ありがとうございました。次に5「事務連絡」でございます。社会教育委員の任期につきましては今年の4月30日までということになっておりまして、今後の任期中の会議につきましては特に予定しておりません。任期中の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

<教育長>

赤石小学校の部分で、先ほど埋蔵文化財の関係で来年度掘るっていう話がありましたけどもこんな予定です。

いずれ赤石地区は300世帯から400世帯ぐらい増えます。どういう人たちが来て、ここに来て子供を産むのか、或いは就学の小学生、中学生が居てここに住んでくるのか全く見込めない部分です。そういう意味である指数に基づいてこの位世帯が増えるならば子供のいる世帯はこの位だらうと見越しながら進めているところです。300世帯すべて子供がいるとも限らないと思ってます。

令和6年度は赤石小学校1年生が4クラスになります。今18学級のキャパがあるのですが、これは絶対超えないんだろうと、校舎建てるときに多分企画したと思うんですが、あっという間にこういう状況になっておりました。今、1学級35人が基本です。だから35、70、次の数字が105です。今回、赤石小学校の1年生が115、ただ次の140までは届いてないけれどもいずれ4学級体制です。

今後、多分次の1年生も次の1年生もそうなるだろうと予測している。ということで、ゴー

ルですが令和8年にそれなりの教室の数を増やす必要がありますので、その前の年に敷地内で建設を始めます。それは令和7年です。令和6年度は先ほど紹介したように埋蔵文化財の発掘調査がそれなりの一定期間、結構長い期間をかけるという事で進めておりました。

いろんな社会教育、生涯学習とも関わるんですが、そういうことで世の中人口減の時代なんですけども赤石地区は人口増。そういう状況がちょっと数年続くということですので、そこもぜひご理解いただければと思います。

人が増えるとコミュニティが生まれて新住民と旧住民との関係だとか、ここは生涯学習の世界としてどう段取っていくか、町全体としていろんな課題が生じ、また解決に向かっていくと思いますので、そういう状況を是非ご理解頂きたいと思います。

<進行：須川課長>

本日は委員の皆様から様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。
それでは以上をもちまして、令和5年度第2回社会教育委員会議を閉会いたします。ありがとうございました。

(閉会 午後7時26分)